

急性期脳梗塞における CT/MR 灌流画像の標準化の意義

-PMA (perfusion mismatch analyzer)の開発-

2006 年 11 月 4 日(土) 13:30-16:00

経団連会館 11F 国際会議場 (ゴールドンルーム)

開会の挨拶

13:30

岩手医科大学 脳神経外科 小川彰先生

来賓ご挨拶

東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学 森悦郎先生

国立循環器病センター総長 北村惣一郎 先生 (メッセージ代読)

講演1

13:35-14:00

座長 中村記念病院 脳神経外科 中川原譲二先生

ASIST-Japan の活動と PMA 開発の経緯

慶應義塾大学 放射線診断科 百島祐貴先生

講演2

14:00-14:50

座長 初台リハビリテーション病院 脳卒中診療科 酒向正春先生

CT/MR 灌流画像の問題点と標準化の意義

北海道大学 放射線医学分野 工藤與亮先生

----- 休憩 ----- 14:50-15:00

講演3

15:00-15:50

座長 国立病院機構九州医療センター 脳血管内科 岡田靖先生

PMA (Perfusion Mismatch Analyzer)の概要と操作の実際

北海道大学 放射線医学分野 工藤與亮先生

総合討論

15:50-16:00

閉会の挨拶

主任研究者 岩手医科大学 放射線科 佐々木真理